

令和5年度
学校評価アンケート結果



令和6年3月
阿南市立新野中学校

令和5年度調査

1 回答期間 令和5年12月21日(木)～令和6年1月18日(木)

2 回答者 教職員13名 生徒46名 保護者52名

3 回答方法

各質問項目に対して、

- 1 まったくあてはまらない
- 2 あまりあてはまらない
- 3 ややあてはまる
- 4 よくあてはまる

の4段階で回答していただいています。

1 まったくあてはまらない、2 あまりあてはまらない を否定的意見

3 ややあてはまる、4 よくあてはまる を肯定的意見

として、調査結果を分析しています。

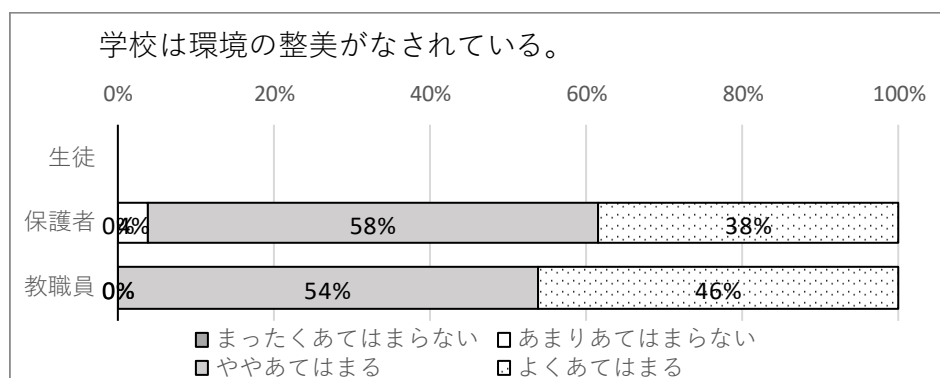
4 結果の活用

調査結果は、2月にとりまとめ、全教職員に配布し、課題と改善点を明らかにするとともに、次年度の学校運営や教育方針、さらに重点目標の参考にします。また、保護者や学校運営協議会委員の方々にも調査結果をお示し、より良い学校運営に努めていきます。

また、ホームページに掲載して、周知を図ります。

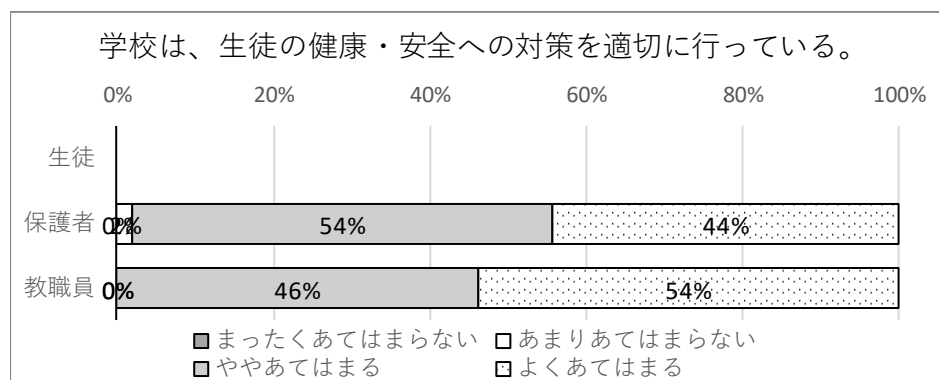
1 学校の環境に関すること

【設問 1】



保護者・教職員とも、90%以上が肯定的な回答となっています。本校用務員による花の管理や営繕担当による修理場所の改善等、各職員が意欲的に取り組んでおり、生徒も各所でよく手伝ってくれています。これからも学校環境の整美に努めます。

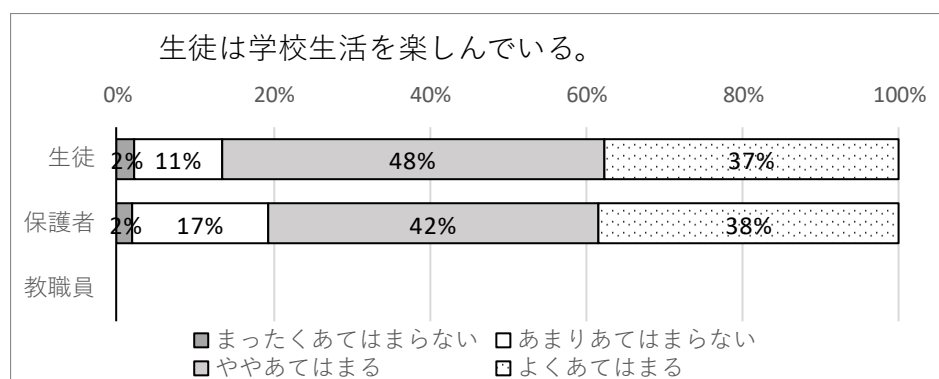
【設問 2】



保護者・教職員とも、90%以上が肯定的な回答となっています。これからも生徒の健康を第一に考え、安心・安全に学校生活を送ることができるように努めます。

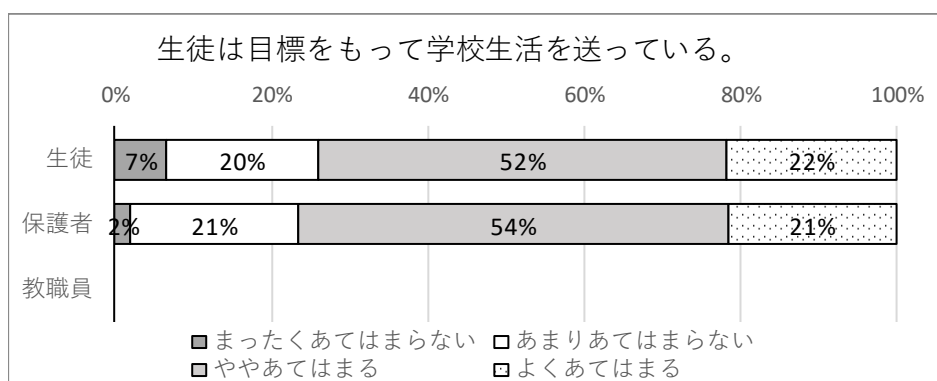
2 生徒の学校生活に関すること

【設問 3】



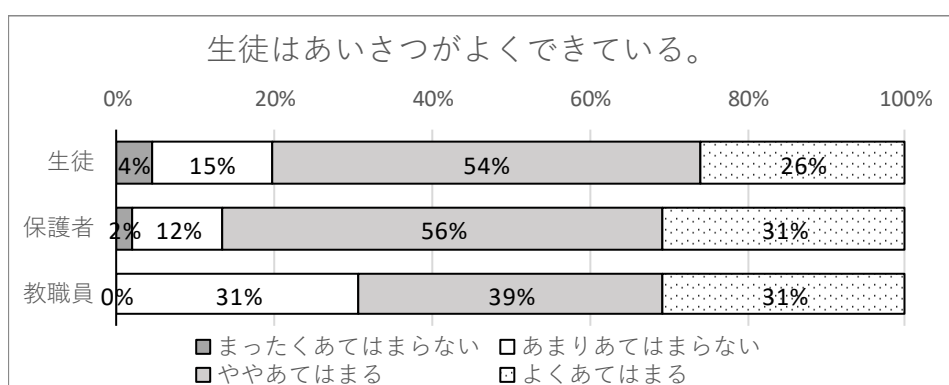
否定的な回答をした生徒が13%、保護者は19%となっています。教職員はこの数字を誠実に受け止め、すべての生徒が「学校生活を楽しんでいる」と回答できるように、生徒に寄り添った、教育活動に取り組んでまいります。

【設問 4】



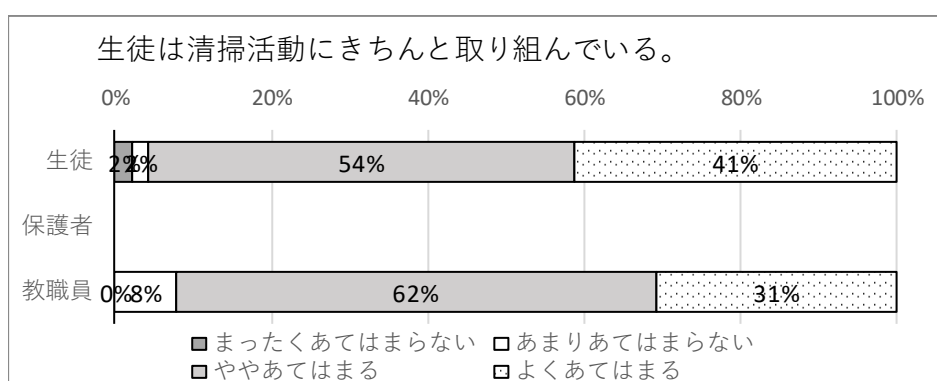
否定的な回答をした生徒が27%、保護者は23%となっています。生徒がそれぞれの目標をもち、目標に向かって学校生活を送り、振り返りながら成長することができるように、支援してまいります。

【設問 5】



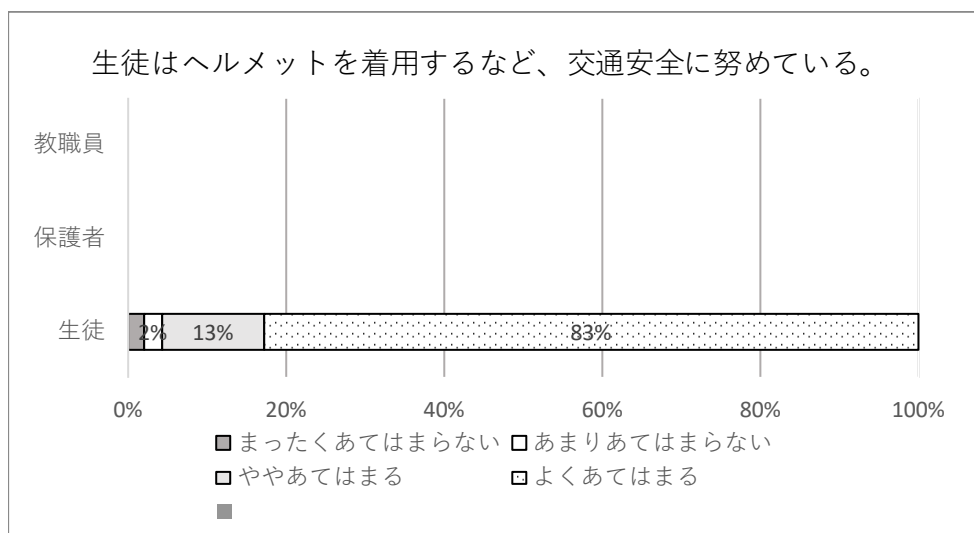
生徒の80%、保護者の87%、教職員の70%が肯定的な回答をしています。本校では、生徒会専門部が毎朝のあいさつ運動をおこなうなど、あいさつの大切さへの意識は広がっています。さわやかなあいさつが行き交う学校を目指して、取り組んでまいります。

【設問 6】



生徒の95%、教職員の93%が肯定的な回答をしています。毎日の15分間の清掃活動に、生徒は前向きに取り組む姿が見られています。これからも清掃活動に誠実に取り組む生徒を育成できるように取り組んでまいります。

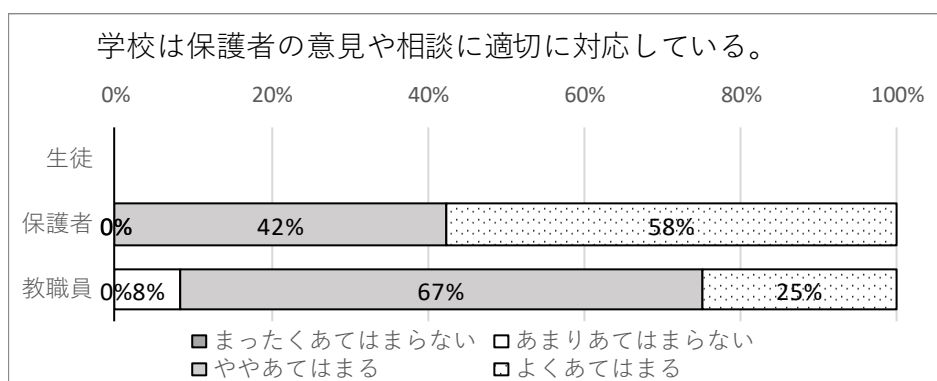
【設問 7】



生徒の96%が、肯定的に回答していますが、一方で交通安全に対する意識が不十分である、または、より意識を高める必要があると考えている生徒が4%という結果となっています。本校は、学校周辺が坂道で、雨風の強い日などは落ち葉で地面が滑りやすく、転倒などの危険性もあります。また下校時は反射たすきを着用するように指導していますが、街灯の少ない場所や、道幅が狭い場所もあります。今後も、機会を捉えて、交通安全の啓発や、命を守る行動について考える取組をすすめて参ります。

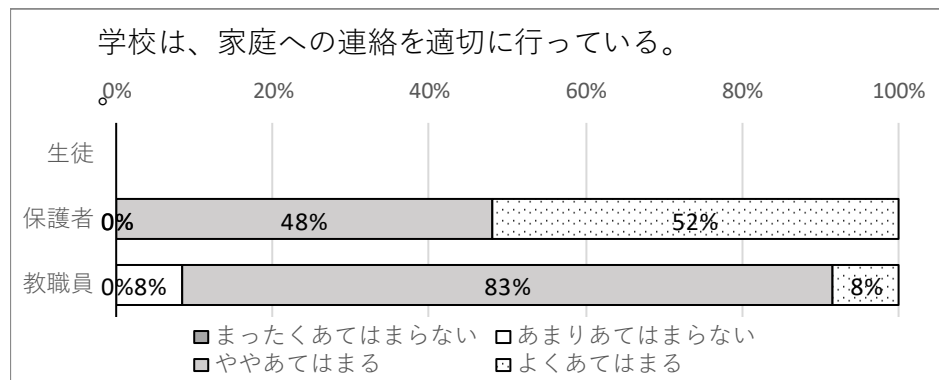
3 生徒指導に関すること

【設問 8】



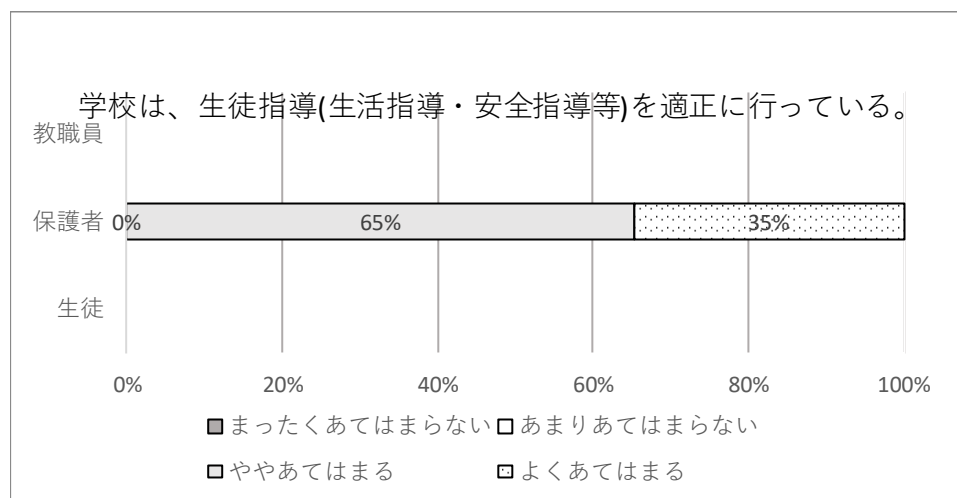
保護者の100%、教職員の92%が肯定的な回答をしています。生徒指導において、学校と家庭との連携は必要不可欠です。今後も、保護者の意見や相談に対して誠実に対応して参りたいと考えておりますので、いつでもご相談いただきますようお願いします。

【設問 9】



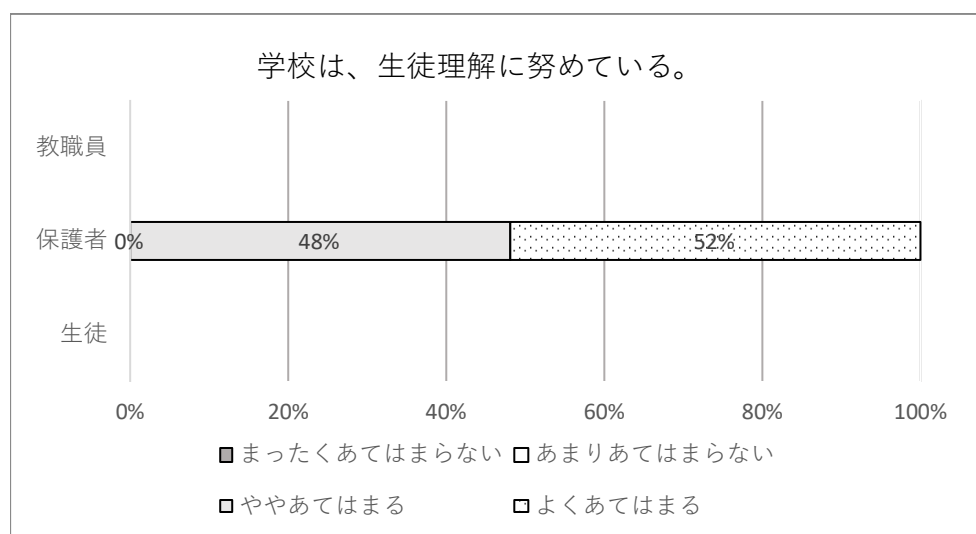
保護者の100%、教職員の91%が肯定的な回答をしています。普段の生活の中で、生徒の健康面や、いつもと少し違った様子なども含め、今後も適切に家庭への連絡を行うように努めます。

【設問 10】



保護者の100%が肯定的な回答をしています。今後も、家庭との連携をしっかりととりながら、生徒の思いに寄り添った指導ができるように努めます。

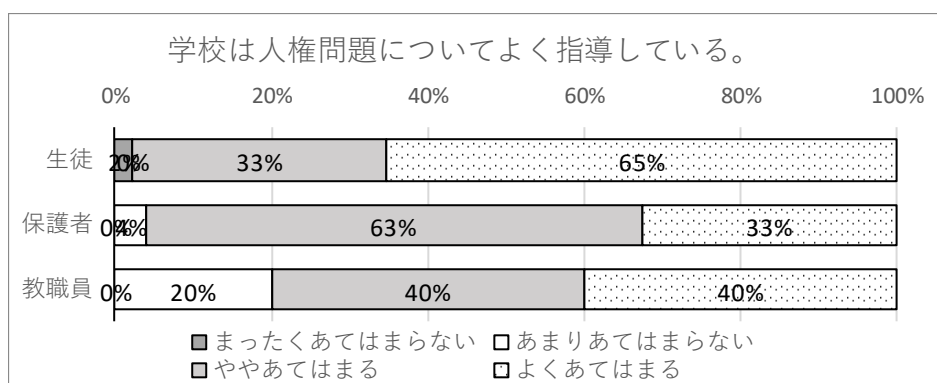
【設問 11】



保護者の100%が肯定的な回答をしています。今後も、生徒一人一人の個性を認め、生徒の目標や将来の進路決定に向けて、家庭と連携をしながら、生徒に寄り添った支援ができるように努めます。

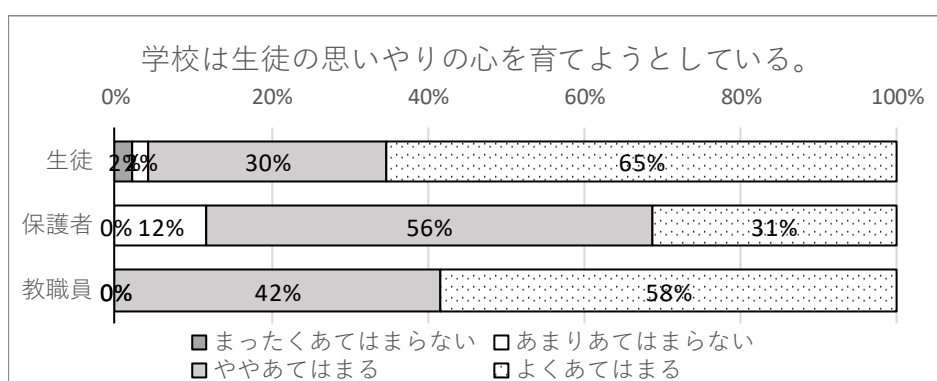
4 人権教育に関すること

【設問 1 2】



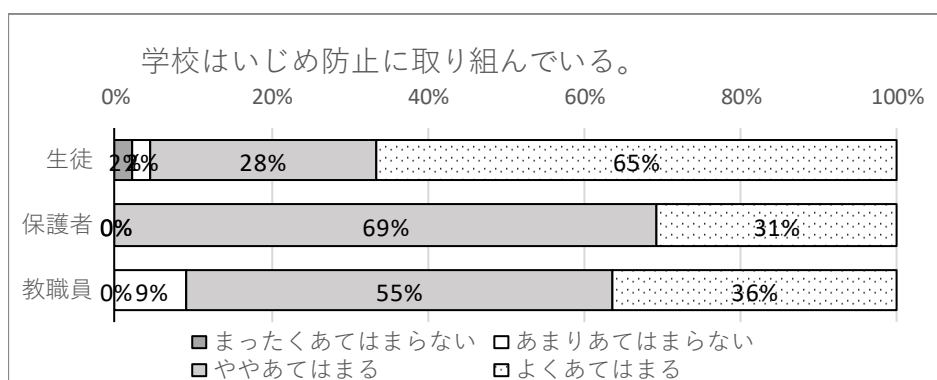
生徒の98%、保護者の96%、教職員の80%が肯定的な回答をしています。人権教育はすべての教育活動を通して、また、生徒の発達段階に応じて段階的・計画的に進める必要があります。今後も、教職員研修も充実させながら、取組を進めてまいります。

【設問 1 3】



生徒の95%、保護者の87%、教職員の100%が肯定的な回答をしています。一方で、保護者の12%、生徒の5%が否定的な回答をしており、教職員の回答との意識の差が見られます。現在、徳島県教育委員会で取組を進めている「ポジティブな行動支援」を本校でも推進し、生徒の言動の背景をみつめ、温かい支援を通して生徒の思いやりの心を育てられるように努めます。

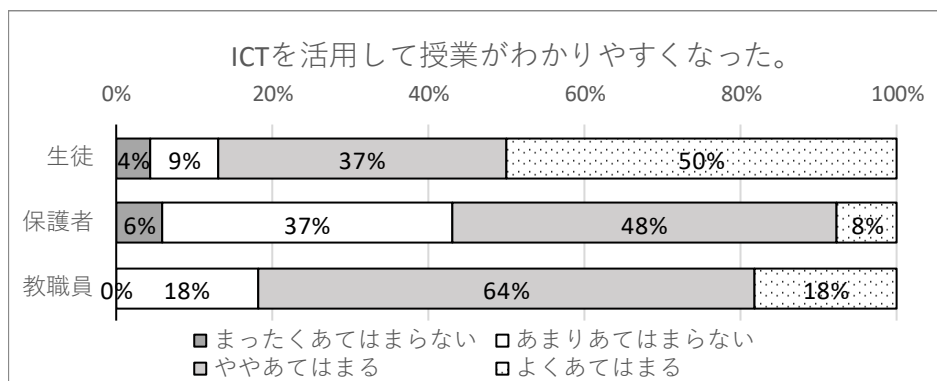
【設問 1 4】



生徒の93%、保護者の100%、教職員の91%が肯定的な回答となっています。いじめは、どの生徒にもどの学校にも起こりうるという認識のもと、定期的に生徒対象の学校生活に関するアンケートを実施し、いじめを見逃さない学校づくりに取り組んでいます。

5 学習指導に関すること

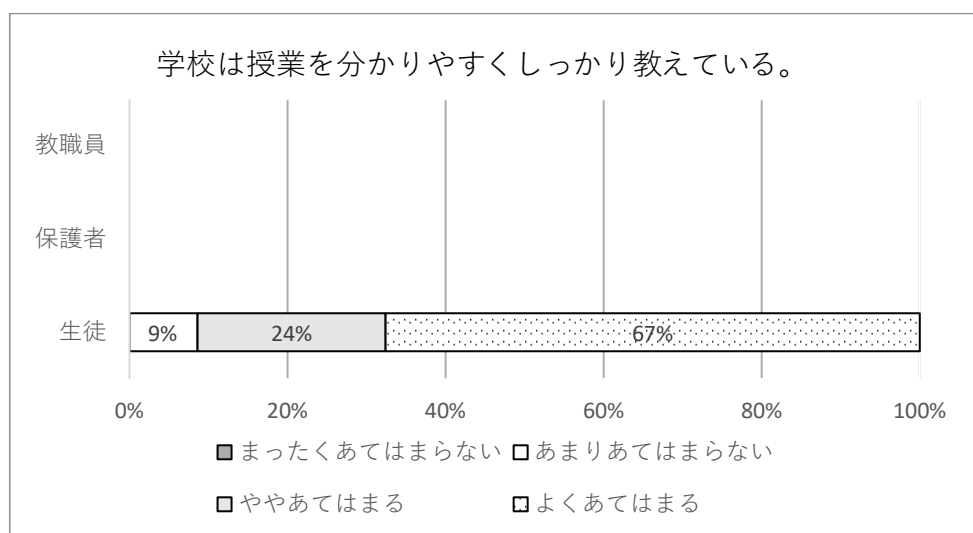
【設問 15】



肯定的な回答は、生徒 87%、保護者 56%、教職員 82%でした。保護者への設問では、「お子さんは、ICTの活用で、授業が分かりやすくなったと言っている」教職員への設問では、「ICTの活用によって指導環境が向上したと考える」とたずねています。

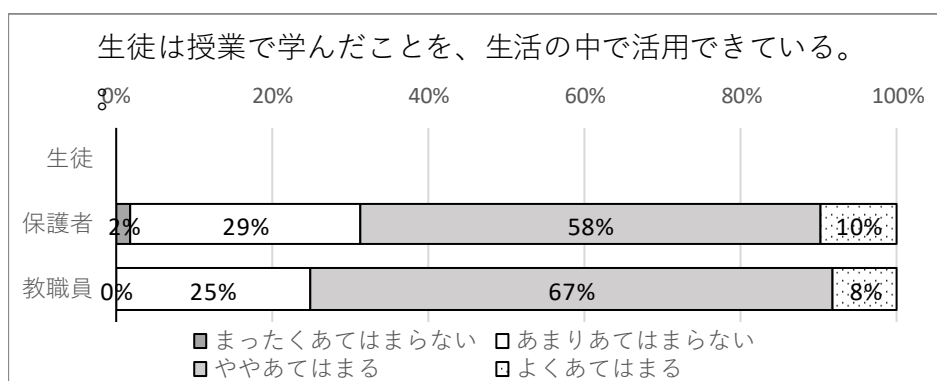
一人一台端末、タブレットが導入され、また指導者用のデジタル教科書の活用も進んでいます。今後も、教職員研修を深め、ICT機器をより効果的に活用できるように努めます。

【設問 16】



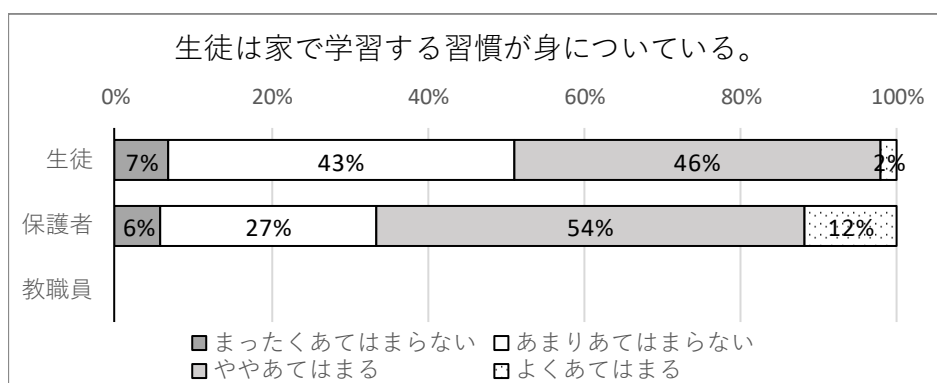
生徒の 91% が肯定的な回答となりました。各教科の授業をとおして、基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができるように、ICT機器の活用、グループやペアでの協働学習の推進など、様々な形態を授業に取り入れながら、授業実践に努めます。

【設問 17】



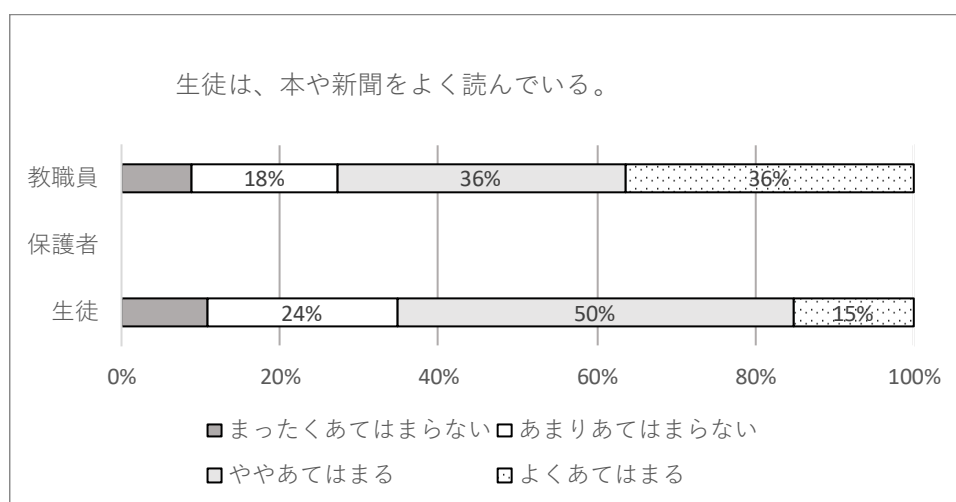
肯定的な回答は、保護者 68%、教職員 75% でした。一方で、否定的な回答が、保護者 31%、教職員 25% となっています。授業で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を、生活の中で活用することができるように、毎時間の授業での目標を振り返り、学んだことを活用する力の育成に努めます。

【設問 18】



肯定的な回答は、生徒 48%、保護者 66% となっています。一方で、生徒 50%、保護者 33% が否定的な回答をしています。学校で学んだ基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るには、家庭での学習習慣の定着が有効です。自主勉強ノートの実践や学校の宿題などを通して、家庭学習が習慣化できるように今後も努めます。

【設問 19】

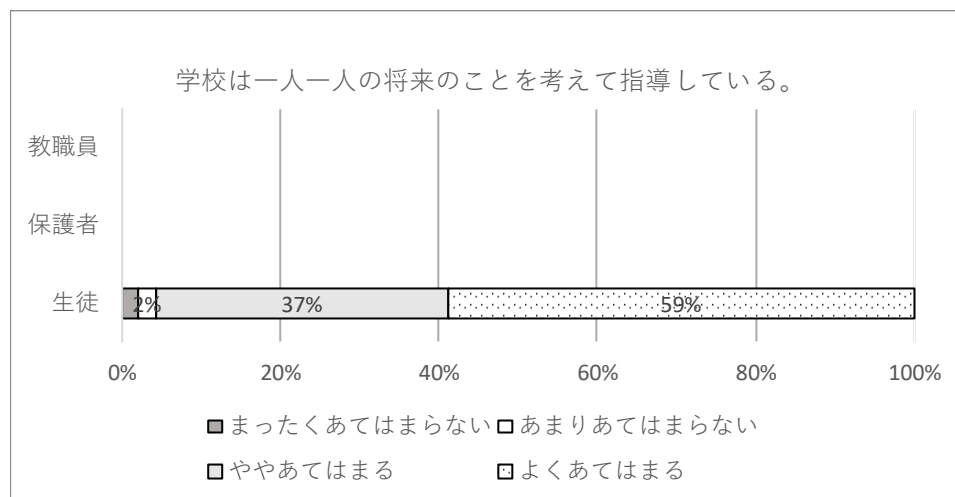


生徒の 65%、教職員の 72% が肯定的な回答をしています。本校の図書室には、様々なジャンルの本が、生徒が手に取りやすいように工夫して並べられており、一日中いつでも出入りし、読みたい本を借りたり、室内で読むことができるスペースも設けています。

また、新聞閲覧コーナーを図書室前に設置し、新聞を学習活動に活用する取組も各学年で実施しております。今後も、読書を通して視野を広げ、豊かな感性を育てることができるよう努めます。

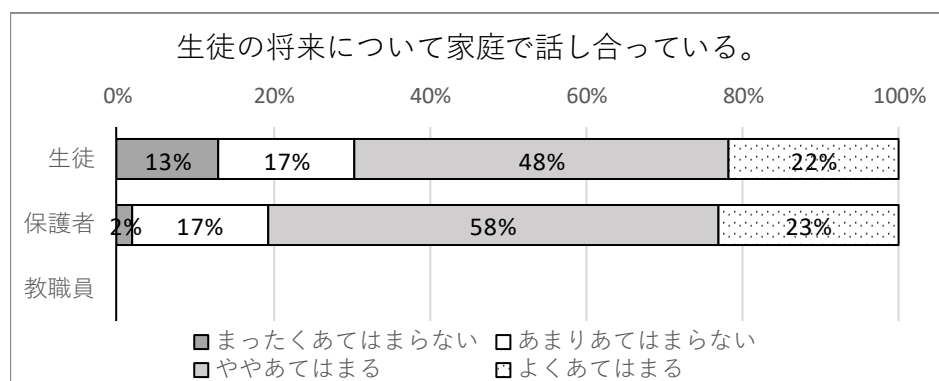
6 進路指導に関すること

【設問 2 0】



肯定的な回答は、生徒 96%となっています。一方で、2%の生徒が「まったくあてはまらない」、同じく2%の生徒が「あまりあてはまらない」と回答しています。学級活動等の授業で進路について考える時間を設けたり、掲示物で様々な進路についての情報を知らせたりするなど、適切な情報提供を行うと共に、一人一人の生徒の思いに寄り添った進路指導ができるように努めます。

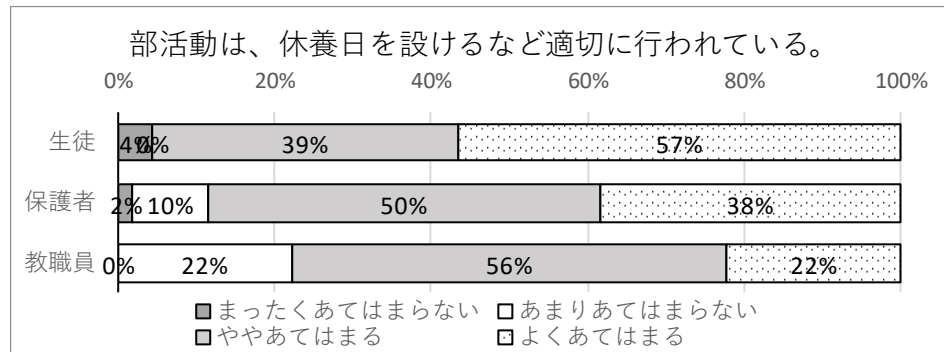
【設問 2 1】



肯定的な回答は、生徒 70%、保護者 81%となっています。一方で、生徒の 30%、保護者の 19%が、否定的な回答をしています。生徒が主体的に自分の将来について考え、進路選択ができるように、保護者と家庭でしっかり話し合うことが大切だと考えます。家庭で進路について話し合う機会がより多くもてるように、学校が将来のことや進路選択についての様々な情報を適切に伝えることができるように努めます。

7 部活動に関すること

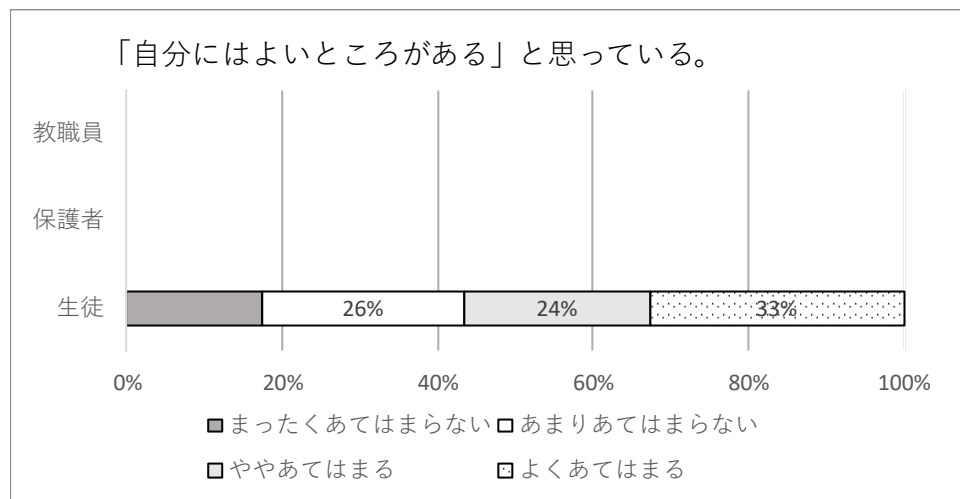
【設問 2 2】



生徒の回答は、「部活動に積極的に取り組んでいる」について、96%が肯定的な結果となりました。保護者は、上記の設問において88%が肯定的、また教職員は、78%が肯定的な回答となりました。今後も適切に休養日を設けるとともに、生徒が主体的に取り組める活動となるように工夫してまいります。

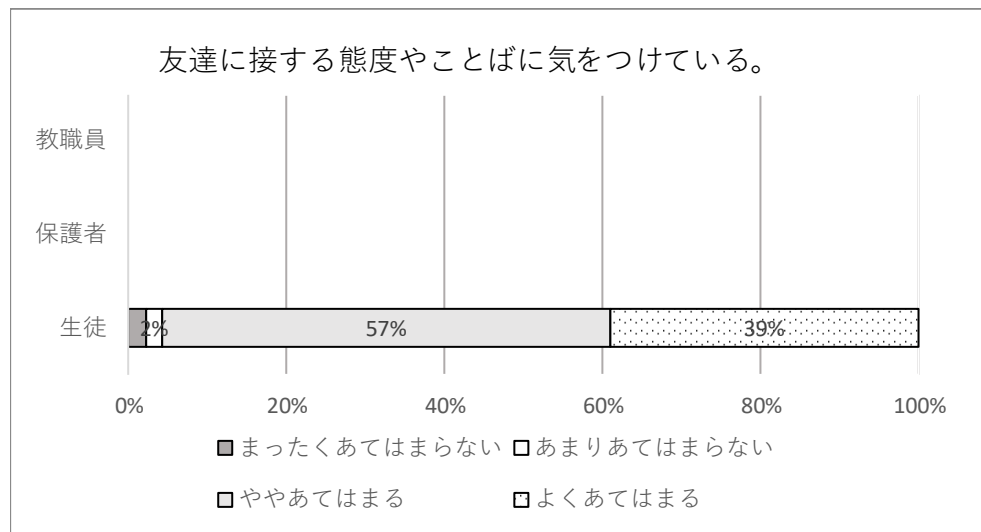
8 生徒自身に関すること

【設問 2 3】



肯定的な回答は57%、否定的な回答が43%という厳しい結果となりました。子どもたちが集団又は個人の目標を達成した際に、周りの大人がそれを認めることにより成功体験を感じ、生徒の自己肯定感が高まるとも言われます。様々な体験活動を通して、生徒が新しいことに取り組む機会を確保し、生徒たちが達成感を感じることができるよう、適切な実践に努めてまいります。

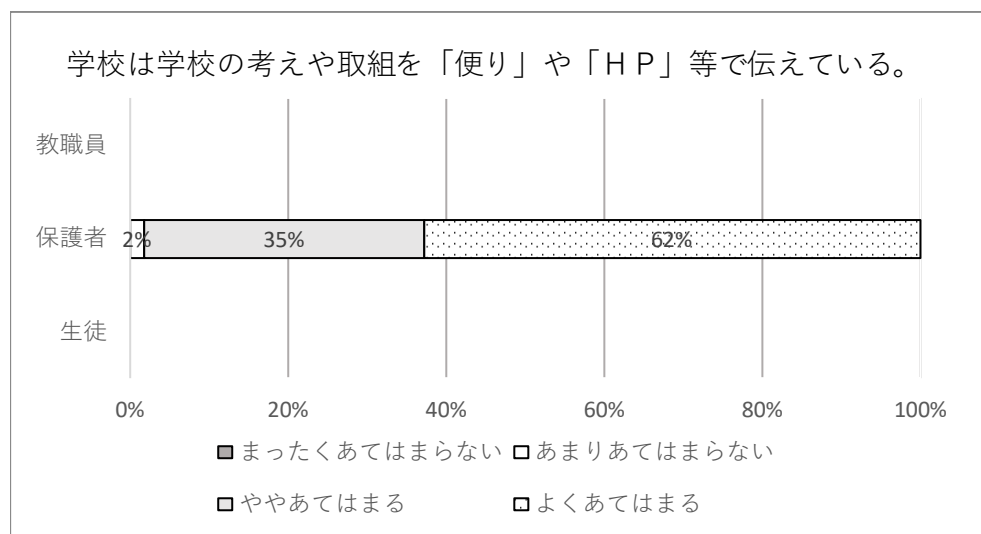
【設問 2 4】



肯定的な回答が96%でした。子どもたちが充実した学校生活を送るために、友達と良好な人間関係を築くことは、大切な要素です。日頃から仲間に対して温かな態度で接することができるように、生徒の様子を見守り、我々も温かな声かけができるように努めます。

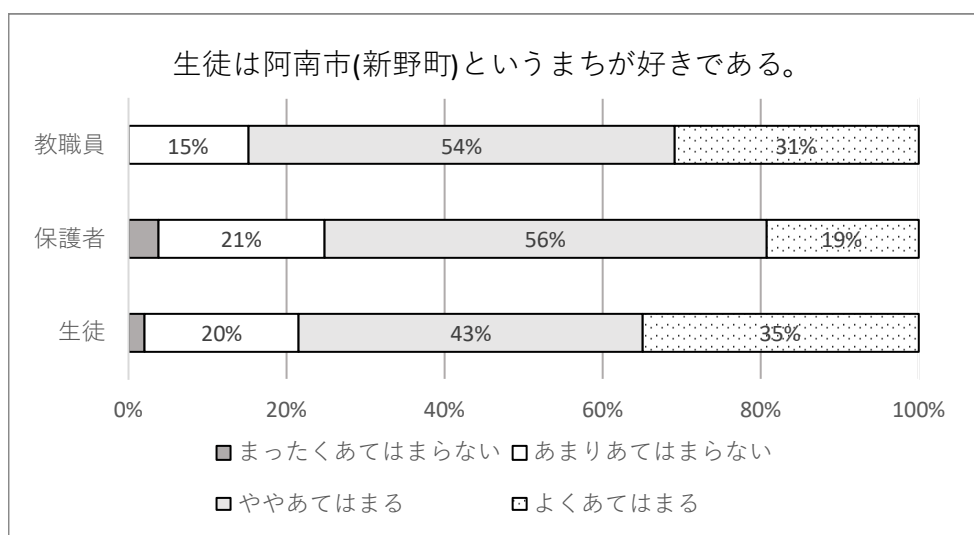
9 開かれた学校づくりに関すること

【設問 2 5】



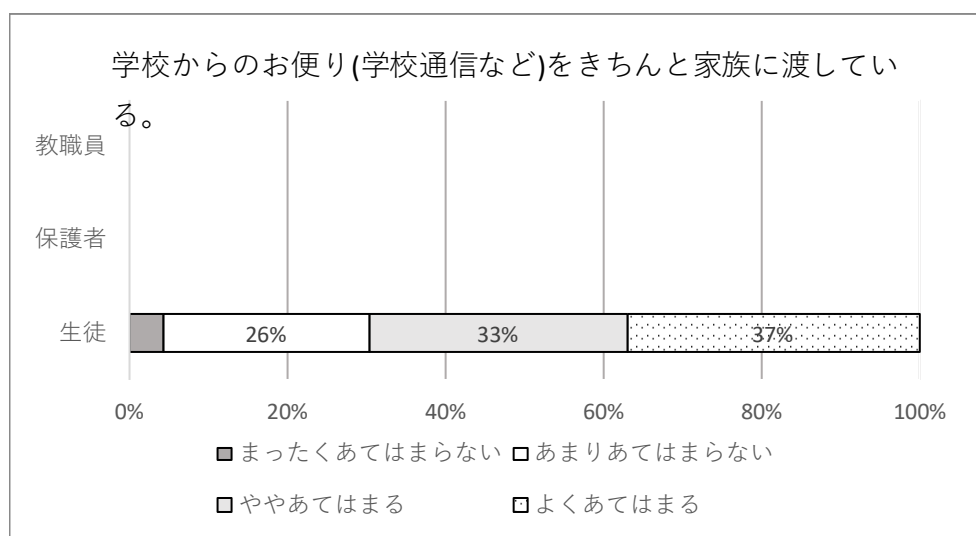
肯定的な回答は97%となりました。今後も生徒の学校生活の様子や学校行事などについて、学校通信、学級通信、学校ホームページ等でタイムリーに新しい情報を積極的にお知らせし、ご家庭でも保護者の皆さまが子どもたちと学校生活について語り合える場面が増えるように努めます。

【設問 26】



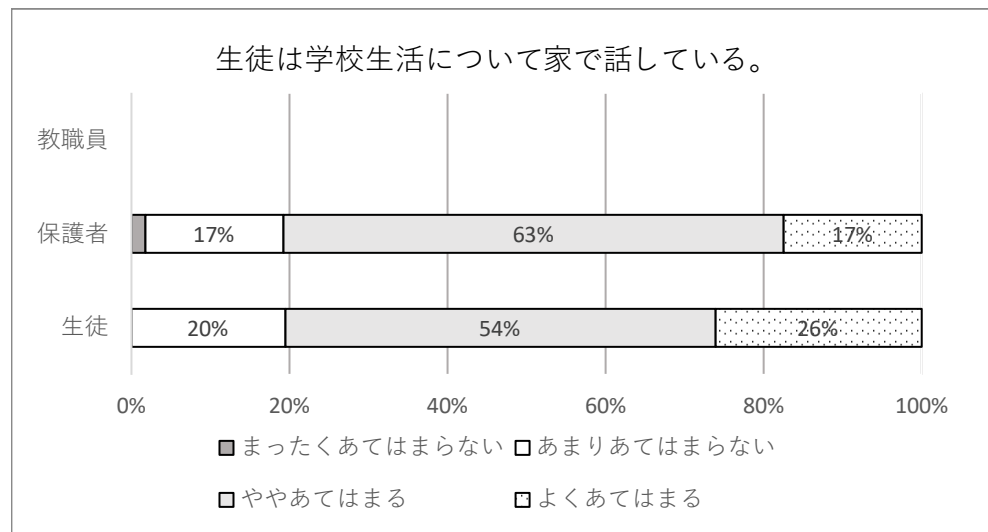
生徒の78%、保護者の75%が肯定的な回答をしています。一方で、生徒の22%、保護者の25%が否定的な回答結果となりました。教職員は、「阿南市(新野町)を好きな生徒を育てている」との問いに対して、85%が肯定的な回答となりましたが、15%は否定的な回答結果となり、ふるさとを誇りに思う気持ちを育てるための取組を改めて進めていく必要があると考えています。私たち教職員自身が、ふるさとの良さや地域資源について知ることに努め、生徒がふるさとを誇りに思い、地域のために自分に何ができるのかについて主体的に考える学習機会がもてるように取り組みます。

【設問 27】



生徒の70%が肯定的な回答をしましたが、30%は否定的な回答となりました。学校通信など、学校から生徒を通してご家庭にお配りしているお便りについては、ホームページにも随時掲載をしております。また、場合によってはマチコミメールを活用するなど、学校からの情報をご家庭に確実にお届けできるように工夫してまいります。

【設問 28】



生徒、保護者の80%が肯定的な回答となりました。一方で、20%は否定的な回答となっています。生徒は、日々学校で様々な体験をしており、その中で楽しかった出来事などは、誰よりもまず、保護者の方に聞いてほしいと思うものです。学校での学習活動が生徒にとって充実したものとなるように、教育活動の充実を図ってまいりたいと思います。